

このファイルを作業小屋や軽トラックに置いて保管しましょう

# 農家のメモ帳

## ～防除日誌～

### 農薬を使う前のチェック項目

- 今日の風は強くないですか？**  
風が強いとドリフト被害が出てしまいます。散布は次回にしましょう。
- マスク・メガネ・帽子・手袋・防護服は準備しましたか？**  
防護服・手袋は水を弾く素材のものを使用し、自分の身を守りましょう。
- その農薬はあなたの作物に登録されている農薬ですか？**  
農薬のラベルや購買の指導員の指示に従いましょう。
- その農薬を使うのは何回目ですか？**  
最大使用回数を超えていないか確認しましょう。
- その農薬は何倍に薄めて使いますか？**  
裏表紙の内容を参考にしながら正確に農薬を使いましょう。
- 何坪の畑に何リットルの農薬を撒く予定ですか？**  
多すぎたり少なすぎると防除効果が出ないので注意しましょう。

体調に気を付けて丁寧に農薬を散布しましょう

### 農薬使用後のチェック項目

- 使った備品は洗いましたか？**  
次回使うときに今回使った農薬が出てきてしまいます。
  - 農機具の洗浄は大丈夫ですか？**  
① タンクを水洗い (すすぎ2～3回) ➡ ② 水を散布して管を洗浄 (1～2分) ➡ ③ 乾かす
- 
- 残った農薬や洗浄で使った水は薄めて土に流しましたか？**  
水道や川・海に流すのはやめましょう。
  - 防除日誌は記帳しましたか？**  
今後の栽培に活かされるよう防除日誌を記帳しましょう。

# 防除日誌記入例

## 防除日誌をつけるポイント

- 手順①→②→③→④に従って防除日誌を記帳しましょう。
- 出荷量や金額を書き残しておく、次回の栽培の参考になります。
- この防除日誌は足りなくなったらコピーして使ってください。

① 栽培作物と圃場ごとに防除日誌をつけよう。

③ 農薬を散布した日にちを記入しよう。下には、その日に散布した量を記入しよう。

栽培作物 ニガウリ 圃場 那覇A

定植日 ○/× 収穫開始日

農薬名	希釈倍率	最大使用回数	○/×	○/×	○/×	○/×	○/×	/	/	/	/	/
			500	500	700	700	800					
アミスター 20	2000	3	✓				✓					
モレスタン	2000	3		✓						✓		
パンチ		3										
トレホ		3										
スタークル顆粒水和剤	2000	2		✓						✓		
アフアーム	2000	3	✓				✓					

② 農薬のラベルや添付資料を見て、農薬の名前・希釈倍率・最大使用回数を書きだしておこう。

④ その日に使った農薬のすべてにチェックを入れよう。その日に気がついた出来事も書き込むと役立つぞ。

書ききれなくなったら次の紙へ

### メモ

那覇A圃場 ○○○坪 ×× 本定植 うどんこ発生 ○/×  
 基肥 ----- ○○kg アザミウマ発生 ○/× 受粉準備  
 追肥 ----- ××L

圃場の様子や収量などをメモに残しておく、防除日誌が自分だけの栽培参考集になるぞ！

# 農薬の正しい扱い方と注意事項

## 散布前の注意事項

- 商品に記載されている適用作物・使用濃度・使用上の注意事項などをよく読んで正しく使用して下さい。(使用濃度を必要以上に濃くすると、逆に植物に害を及ぼす恐れがあります。)
- 大量に散布する場合、高い庭木に散布する場合は農薬用マスク・農芸用メガネ・手袋・帽子・長袖の服・長靴を着用するなど皮膚の露出を少なくして下さい。
- 室内で使用しないで下さい。
- 体調がすぐれない時は、薬剤散布を行わないで下さい。

## 散布中の注意事項と散布方法

- 強風時や日中高温時の散布は避け、風が弱まる朝夕の涼しい時に散布して下さい。
- 散布液が家屋・洗濯物・ペット・自動車・塀などにかかったり池や河川などに入らないよう、風向きに十分注意して下さい。
- 散布中は小児やペットが近寄らないように十分配慮して下さい。また、タバコを吸ったり食事をとりながらの散布は行わないで下さい。
- 粒剤以外の薬剤は、半日程度雨の降らない日を選んで散布して下さい。(散布後直ぐに雨が降ると効果がなくなります。)
- 植物全体にむらなく丁寧に散布して下さい。(病害虫は葉の表だけでなく葉裏や枝にも発生しています。)

## 散布後の注意事項と保管方法

- 散布後は手足・顔など皮膚の露出部を石鹸でよく洗い、使った器具や衣服も同時に洗って下さい。
- 散布中及び散布当日は小児やペットが近づかないように、また散布区域に立ち入らないように配慮して下さい。
- 余った散布液は、河川・下水などに捨てないで土にまいて処理して下さい。
- 使用後の薬剤は飲食物・食器類やペットの餌と区別し、直射日光を避け、密栓して小児の手の届かない冷涼な場所に火気を避けて保管して下さい。
- 他の容器に移し替えて保管しないで下さい。

# ～農薬の溶かし方～

①

粉(水和剤)を  
少量の水で溶かす



②

溶いた農薬を  
水と混ぜ合わせる  
※乳剤やフロアブル剤は  
そのまま水に溶かす

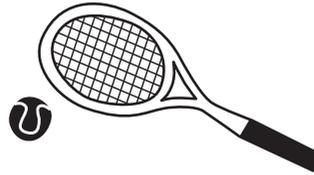
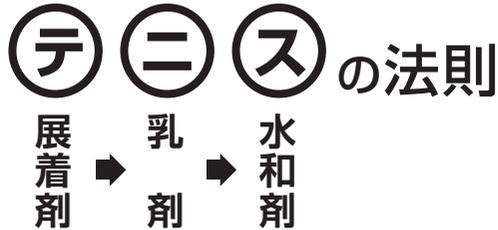


③

よくかき混ぜて  
使いましょう  
※散布中も時々  
かき混ぜましょう



## おぼえよう混用手順



## 農薬希釈倍率表

		動噴(どうふん)のタンクの水量		
		100L	500L	1,000L
農薬の濃度	50倍	2kg	10kg	20kg
	1,000倍	100g	500g	1kg
	1,200倍	83g	416g	833g
	1,500倍	66g	333g	666g
	2,000倍	50g	250g	500g
	5,000倍	20g	100g	200g

(例) アザミウマ類・カイガラムシ類 モスピラン顆粒水溶剤 2000倍  
上記の農薬を500L散布したい場合、水500Lにモスピラン顆粒水溶剤250gを希釈して散布

# 「農家のメモ帳～防除日誌～」の使い方について（※この防除日誌は、市場に提出するものではありません）

平成25年度 病害農薬の安全性の向上と信頼確保事業

このファイルを作業小屋や軽トラに置いて保管しましょう

## 農家のメモ帳 ～防除日誌～

農薬を使う前のチェック項目

- 今日の風は強くないですか？  
風が強いとドリフト被害が出てしまいます。散布は次回にしましょう。
- マスク・メガネ・帽子・手袋・防護服は準備しましたか？  
防護服・手袋は水を弾く素材のものを使用し、自分の身を守りましょう。
- その農薬はあなたの作物に登録されている農薬ですか？  
農薬のラベルや農薬の指導員の指示に従いましょう。
- その農薬を使うのは何回目ですか？  
最大使用回数を超えていないか確認しましょう。
- その農薬は何倍に薄めて使えますか？  
取扱説明の内容を参考にしながら正確に農薬を使いましょう。
- 何坪の畑に何リットルの農薬を撒く予定ですか？  
多すぎたり少なすぎると防除効果が出ないので注意しましょう。

体調に気を付けて丁寧に農薬を散布しましょう

農薬使用後のチェック項目

- 使った備品は洗いましたか？  
次回使うときに今回使った農薬が出てきてしまいます。
- 農機具の洗浄は大丈夫ですか？  
①タンクを水洗い ②水を散布して管を洗浄（すすぎ2～3回） ③水を散布して管を洗浄（1～2分） ④乾かす
- 残った農薬や洗浄で使った水は薄めて土に流しましたか？  
水溜り・川・海に流すのはやめましょう。
- 防除日誌は記載しましたか？  
今後の栽培に活かされるよう防除日誌を記載しましょう。

© 沖縄協同青果株式会社

## ① ページ：表紙

**圃場・作物・ハウスごとに  
分けて防除日誌をつけるのが原則です**

- 水にぬれても平気な素材でできているので野外の作業場で使用できます。
- 表紙は **農薬を使う前のチェック項目**となっています。もう一度、確認してみましょう。

## 防除日誌記入例

防除日誌をつけるポイント  
●手順1～5～6～7に従って防除日誌を記載しましょう。  
●出荷量や定額を書き添えてください。次の栽培の参考にします。

① 栽培作物と圃場ごとに防除日誌をつけよう。

② 農薬のラベルや添付資料を見て、農薬の名前・希釈倍率・最大使用回数を書き添えておこう。

③ 農薬を散布した日にちを記入しよう。下には、その日に散布した量を記入しよう。

④ その日に使った農薬のすべてにチェックを入れよう。その日に気がついた出来事も書き込むと役立つぞ。

書ききれなくなったら次の版へ

栽培作物	ニガナリ	農薬	希釈倍率	散布日			散布量	備考
				1	2	3		
農薬名	希釈倍率	最大使用回数	〇/×	〇/×	〇/×	〇/×	〇/×	
アミスター 20	2000	3	✓		✓			
モスリン	2000	3	✓		✓			
バト		3						
ト		3						
スターク製粒水剤	2000	2						
アフアム	2000	3	✓		✓			

メモ  
担別 A 単位 ○○坪 ××本定植 うどんこ発生 ○/×  
基礎 --- ○Okg アザミユマ発生 ○/× 受粉  
忌肥 --- ××L

圃場の様子や収量などをメモに残しておく、防除日誌が自分だけの栽培参考になるぞ！

## ② ページ 防除日誌の記入例

- 記入例を見ながら記帳しましょう。
- **農薬名、希釈倍率、散布日**以外は独自にアレンジして、使いやすいように使ってください。

※注意※ 記録用紙は、何枚でも使えるようにコピーは自分でし  
ましよう。（記録紙は10枚入っています。）

## 農薬の正しい扱い方と注意事項

散布前の注意事項

- 商品に記載されている適用作物・使用濃度・使用上の注意事項などをよく読んで正しく使用して下さい。（使用濃度を必要以上に濃くすると、逆に植物に害を及ぼす恐れがあります。）
- 大量に散布する場合、高い崖木に散布する場合は農作業マスク・農用メガネ・手袋・帽子・長袖の服・長靴を着用するなど皮膚の露出を少なくして下さい。
- 室内で使用しないで下さい。
- 体調がすぐれない時は、薬剤散布を行わないで下さい。

散布中の注意事項と散布方法

- 強風時や日中高温時の散布は避け、風が弱まる朝夕の涼しい時に散布して下さい。
- 散布液が家庭・洗濯物・ペット・自動車・畜などに溅りかけたり池や河川などに入らないよう、風向きに十分注意して下さい。
- 散布中は小児やペットが近寄らないように十分配慮して下さい。また、タバコを吸ったり食事をとりながらの散布は行わないで下さい。
- 粒剤以外の薬剤は、半日程度雨の降らない日を選んで散布して下さい。（散布後直ぐに雨が降ると効果がなくなります。）
- 植物全体にむらなく丁寧に散布して下さい。（病害虫は葉の裏だけでなく葉裏や枝にも発生しています。）

散布後の注意事項と保管方法

- 散布後は手足・顔など皮膚の露出部を石鹸でよく洗い、使った器具や衣服も同時に洗って下さい。
- 散布中及び散布当日は小児やペットが近づかないように、また散布区域に立ち入らないように配慮して下さい。
- 余った散布液は、河川・下水などに捨てないで土にまいて処理して下さい。
- 使用後の薬剤は飲食物・食器類やペットの餌と区別し、直射日光を避け、密栓して小児の手が届かない冷涼な場所に火気を避けて保管して下さい。
- 他の容器に移し替えて保管しないで下さい。

## ③ ページ 農薬適正使用に関する 注意事項

- **散布前・散布中・散布後に、農薬使用に関して注意する項目が書かれています。**
- **農薬から身を守るためにも気を付けて散布をしましょう。**

## ～農薬の溶かし方～

- ① 粉（水和剤）を少量の水で溶かす
- ② 溶いた農薬を水と混ぜ合わせる  
※乳剤やフロアブル類はそのままで溶かす
- ③ よくかき混ぜて使いましょう  
※散布中はよくかき混ぜましょう

おぼえよう混用手順

① ② ③ の法則  
展着剤 乳剤 水和剤

農薬希釈倍率表

農薬の濃度	動噴（どうふん）のタンクの水量		
	100L	500L	1,000L
50倍	2kg	10kg	20kg
1,000倍	100g	500g	1kg
1,200倍	83g	417g	833g
1,500倍	67g	333g	667g
2,000倍	50g	250g	500g
5,000倍	20g	100g	200g

例）アザミユマ類・カイガラムシ類 モスリン製粒水剤剤 2000倍  
上記の農薬を500L散布したい場合、水500Lにモスリン製粒水剤250gを希釈して散布

監修 沖縄協同青果株式会社

## ④ ページ 農薬散布の時の注意事項

- 農薬の溶かし方
- 簡単な混用手順の説明
- テニスの法則を確認しよう。
- 農薬希釈倍率表
- **農薬の使用量をかんたんに確認しやすくなっています。**

栽培作物	圃場	定植日	収穫開始日									
			農薬名	希釈倍率	最大使用回数	/	/	/	/	/	/	/

メモ